

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

I : 基本施策【基本指標】

		H15(現状)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	H26(中期目標)	H32(長期目標)	達成率評価 (長期目標)	達成評価 (長期目標)	評価理由	森林審議会意見	対応方針
<b>1 環境に配慮した森林づくりの推進</b>														
(1) 多面的機能を発揮させる森林管理の推進	111 民有林に占める保安林面積の割合(%) (累計)	33 達成率(%)	34 24	35 40	35 40	35 40	森林の多面的機能を高度に発揮させるために、新たに487haを保安林に指定した。 累計は64,796haで民有林の35%である。	36	38	D	★★★	防災に係る保安林、治山と間伐を均等に評価し、星3つとした。	保安林は指定して面積が増えるだけでは必ずしも多面的機能がそのまま発揮されるとは限らないので、適切なモニタリングをし、管理する体制などを考える必要がある。	森林の現状を的確に把握し、状況に応じた対応を図るため「水源林保全巡視員」を平成27年度から設置する。
	112 治山事業による保安施設整備割合(%) (累計) ※保安林面積に対する保安施設整備面積の割合	49 達成率(%)	58 53	58 56	58 56	58 57	荒廃林地の復旧・予防等により県土の保全と保安林機能の増進を図るため治山事業による保安施設整備を実施した。厳しい予算事情の中で災害発生箇所の復旧を優先するなど効果的に実施した。 429ha(142箇所)	61	65	C				
(2) 人工林の地域特性に配慮した森林整備の推進	121 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合(%) ※人工林のうち1年間に除伐や間伐を必要とする森林(H31 3,100ha)に対して、その年に除伐や間伐を行った森林面積の割合	64 達成率(%)	97 108	81 90	62 69	82	平成23年度より国の政策の転換で、間伐については、集約化した搬出間伐を重点とした支援になったため、H24年度の実績は落ち込んだが、路網整備および集約化施策の推進等により前年に対し約400haの面積増の成果となった。(2,294ha)	80	90	B				
<b>2 県民の協働による森林づくりの推進</b>														
(1) 県民の主体的な参画の促進	211 森林づくり活動を実践している市民団体等の数(団体・累計)	30 達成率(%)	112 68	120 75	127 81	139 91	活動に対する支援を行い、森林づくり活動が活発となり、森林づくり活動を実践する市民団体の数が前年より12団体増えた。	125	150	A	★★★	3項目を均等に評価して星3つとした。	森林づくり活動を実践する市民団体については、団体数の評価だけでなく、活動状況の把握が必要で、活発な活動に促すためにはさまざまな支援がいる。	森林づくり団体の活動支援については、主体的な活動を支援するための「森づくり応援サイト」等のホームページを活用した情報の共有等の実施や、国の制度も活用して取り組みたい。また、団体の活動状況については、引き続き適期に把握していきたい。
(2) 里山の整備・利活用の推進	221 里山整備協定林の数(箇所・累計)	0 達成率(%)	11 28	12 30	13 33	14 35	市町が主体となり、里山保全グループ等と協働で行う里山保全活動の箇所数は、前年より1箇所増え、14箇所となったが目標と開きがある。但し、里山保全活動は継続的に展開されている。	25	40	D				
(3) びわ湖水源のもりの日・びわ湖水源のもりづくり月間の取り組み	231 びわ湖水源のもりづくり月間の森林づくりへの参加者数(人)	1,583 達成率(%)	6,819 52	7,481 58	10,618 82	10,290 79	県広報誌やホームページ等での啓発や森づくり交流会などのイベント等の開催などにより月間における森林づくりへの参加を促したが、参加者数は、天候不順等から前年と比較すると97%となり漸減した。	8,000	13,000	B				
<b>3 森林資源の循環利用の促進</b>														
(1) 県産材の利用の促進	311 県産材の素材生産量(m3)	32,000(H20) 達成率(%)	43,000 36	67,000 56	59,000 49	62,000 52	住宅や公共施設の木造化に対する理解が県民に浸透してきており、設計や建築関係者の意識や技術も向上するなど、利用や需要面は着実に進展している。需要に十分に当たっているよう、目標達成に向けて素材生産の一層の拡大に取り組む必要がある。	59,000	120,000	C	★★★	達成率52%を評価し、星3つとした。	意見なし	-
<b>4 次代の森林を支える人づくりの推進</b>														
(1) 森林所有者等の意欲の高揚	411 地域の森林づくりを推進する集落数(集落)	25 達成率(%)	60 60	62 62	80 80	82 82	森林経営に積極的に取り組む森林所有者等を育成するために、林業普及指導員が中心となり、市町や森林組合、林研グループなどと連携して、情報提供や技術指導等を行った。	87	100	B	★★	2項目を均等に評価すると星3であるが、集約化施策の重要度を加味して、星2つとした。	人づくりについては、全体的に達成度が低く、予算も少ない状況であるので、積極的に施策を打っていく必要がある。	担い手の中心となる森林組合の人材育成を図るため、平成27年度より県単独事業を新設し対応するとともに、引き続き普及指導等により人材育成に取り組む。
(2) 森林組合の活性化	421 森林組合の低コスト実施実施面積(ha)	78(H20) 達成率(%)	280 20	381 27	452 32	341 24	森林組合に対して、集約化施策を推進するために、森林施業プランナー研修や作業道オペレーター研修などを行ったが、台風災害の影響もあり、前年度よりも面積は減少した。	660	1,400	E				

II : 戦略プロジェクト【5年間の取り組み】

		H20(現状)	H22	H23	H24	H25	進捗状況	H26(中期目標)	達成率の評価	達成評価	評価理由	審議会意見	
<b>1 環境に配慮した森林づくり推進プロジェクト</b>	● 環境林整備面積 (ha・累計)	422 達成率(%)	639 18	699 24	1,075 55	1,539 95	森林所有者が自ら整備することが困難な森林を対象に強度間伐と密度管理型の整備を進めており、新たに464haの事業を行い、累計は1,539haとなり、95%の達成率になった。	1,600	A	★★★★★	間伐実績が目標に達していないが、2項目が目標達成およびほぼ達成であることから星4つとした。	意見なし	
	● 年間間伐実施面積(ha)	2,525 達成率(%)	3,014 97	2,513 81	1,921 62	2,042 66	平成23年度より国の政策の転換で、原則、搬出間伐のみが補助対象となったため、路網整備および集約化施策を積極的に推進したが、台風災害等により搬出経路が被災したため、結果的には間伐実施面積は前年よりも微増となった。	3,100	C				
	● 年間作業道等開設延長(m)	26,115 達成率(%)	69,652 192	86,649 239	113,512 314	99,143 274	集約化施策の推進を行い、基盤整備における事業実績として林道開設1,232m、作業道開設97,911mであり、積極的な整備ができた。	36,200	A				
<b>2 県民の協働による森林づくり推進プロジェクト</b>	● 琵琶湖森林づくりパートナー協定(企業の森)締結数(累計)	3 達成率(%)	11 67	14 92	17 117	21 150	企業と森林所有者とが「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、企業から提供いただいた資金によって森林整備が実施されている。取り組みは広がっており、新たに4件の協定が締結されて、累計21件になった。	15	A	★★★★★	2項目とも目標を達成しているため星5つとした。	企業側のニーズが高まる中、受入態勢に課題があり、他府県の取り組みを参考にし対策を検討する必要がある。	企業の森の取組みについて、受入れ側へは引き続き様々な機会を通じて啓発活動を行うとともに、他府県の取組みも参考にし仕組みを検討していく。
	● 森林づくり活動市民団体年間延べ活動日数(日)	482 達成率(%)	539 72	555 74	935 125	1,030 137	13の活動団体へ補助金助成などを行った。このような活動支援が契機となり森林づくり活動が活発化し、活動団体数の増加や活動日数も昨年の935日から1,030日へと増加した。	750	A				
<b>3 森林資源の循環利用促進プロジェクト</b>	● 高性能林業機械導入数(台・累計)	6 達成率(%)	9 25	9 25	15 75	17 92	集約化施策による利用間伐の推進を図るため、労働安全衛生に配慮しつつ、作業の効率化・低コスト化に向けて、国の森林整備加速化事業を利用して、新たに2台の高性能林業機械が導入された。	18	A	★★★★★	びわ湖材認証は目標達成しており、高性能林業機械導入はあと1台で目標値となることから星5つとした。	意見なし	-
	● びわ湖材認証を行った年間木材量(m3)	9,595 達成率(%)	10,484 58	14,450 80	16,828 93	21,438 119	認定事業者が182者となり、認証した木材量が前年度より4,610m3増の21,438m3になるなど、「びわ湖材」の理解は木材関係者に浸透し、定着しつつある。	18,000	A				
<b>4 次代の森林を支える人づくり推進プロジェクト</b>	● 森林組合の木材生産に専門的に従事する作業員数(人)	0 達成率(%)	38 76	30 60	31 62	22 44	集約化施策を進めるために、素材生産を低コストで行う人材の育成に対して支援をおこなうとともに、就労環境の改善に向けた雇用関係の明確化を進めた結果、直営班から請負班になった作業員があったため、森林組合が雇用する木材生産を専門する作業員は前年より9名減少した。	50	D	★★★	2項目を均等に評価すると星4つとなるが、森林組合の木材生産作業員数は目標値の半数以下であることから星3つとした。	人づくりについては、人数だけでなく、専門知識を持つなど質的なことが必要であり、数値的に表れないものを把握することを検討する必要がある。	森林施業プランナー認定制度などの質的評価を行う仕組みを利用するとともに、普及指導等を通して本県の人材育成をすすめていきたい。
	● 森林環境学習の年間受講者数(人)	12,928 達成率(%)	14,557 73	16,412 82	17,200 86	21,200 106	次代の森林づくりを支える人材育成のために、「やまのこ」事業を中心とした森林環境学習を行った。中期目標の2万人を超える21,200人が森林環境学習を体験することができた。	20,000	A				

**達成率の計算方法**  
 ①実績が単年のもの：実績値/目標値  
 ②実績が累計のもの：(実績値-現状値)/(目標値-現状値)  
 計算例 ①311県産材素材生産量 62,000/120,000=52%  
 ②111保安林面積割合 (35-33)/(38-33)=40%

個々の取り組みの達成率の評価 A：90%以上 B：70-89% C：50-69% D：30-49% E：30%未満

基本施策・戦略プロジェクトの達成率の評価 5段階評価 ★★★★★：5点 ★★★★：4点 ★★★：3点 ★★：2点 ★：1点